

広報特別委員会

日 時 令和4年11月21日（月）
午前10時40分から
場 所 第1委員会室

付議事項

1 市議会モニターへのアンケート調査について

2 今後の広報活動について

(1)議会だよりの充実

(2)ホームページの活用

(3)FMスマイルウェーブの活用

(4)SNS（フェイスブック・ツイッター・ユーチューブ・インスタグラム
・ライン）の活用

(5)市民に対して定例会以外での議場の開放

3 その他

1 今後の広報活動について

市民から「議会に関心がない」、「議会で何を活動しているのか分からない」、「委員会で何を活動しているのか分からない」という声を聞きます。

広報活動の目的は、市民が議会に対して「関心」を持ち、「理解」、「共感」、「納得」、「信頼」、「参加」していただくことだと思います。

議会が市民に価値がある情報を伝えるとともに、市民の声を聞いて施策・事業をつくっていくことが必要だと思います。

<参考資料>

「早稲田大学マニフェスト研究会が出した議会改革調査 2021 総合ランキング（総数 1433）の中で本市は総合ランキング 133 位・情報共有（25 位）・住民参画（101 位）・機能強（361 位）」

2 広報活動を拡げていく施策

- (1) 議会だよりの充実
- (2) 市ホームページの活用
- (3) FMスマイルウェーブの活用
- (4) SNS（フェイスブック・ツイッター・ユーチューブ・インスタグラム・ライン）の活用
- (5) 市民に対して定例会以外での議場の開放

(1) 議会だよりの充実

議会だよりは年間予算額として 246 万 4 千円が支出されています。各定例会後、年 4 回作成されています。

年間の総ページ数は 60 ページ程度です。

定例会ごとに 26,400 部作成され、各家庭や小中学校・関係施設等に配布されています。

1 冊の経費は約 24 円で、市民の税金で賄われています。こうした貴重な税金で作られた議会だよりを充実させるには

ア) 企画（何を伝えるのか）

イ) 編集（どのように紙面で表現するのか。紙面枚数はどうか）

- ・全体の編集・デザイン（紙面構成）
- ・読みやすい紙面レイアウト（文字サイズ・文字間・段組・見出し・リード・写真）
- ・図表やグラフなどを用いて、分かりやすい記事になっているか
- ・記事と写真・図表・グラフの関係が的確か
- ・字体・色使い・視覚的効果のバランスは効果的か
- ・情報量が適切で読みやすいか

ウ) 評価（読者評価・議員評価）

市議会モニターに評価してもらおう

エ) 改善（次号の議会だよりの改善）

オ) 議会だよりを各方面に今まで以上に配布する

例えば、小中学校への配布数は1枚だが、増やして図書室等に置いていく。また、現在配布されていない県立高校3校・私立高校1校・市立大学1校へ配布する。将来的には、評価・意見をもらい、議会だよりに載せて反映していく。

（２）市ホームページの活用

行政のホームページは「使いづらい」という声を聞くことがあります。

トップページから議会だよりに直接リンクするよう改善していきます。

（３）FMスマイルウェブの活用

（４）SNSの活用

DX特別委員会と情報交換をしながら進めます。

（５）市民に対して定例会以外での議場の開放

多くの方に定例会以外でも議場を見てもらい（要予約）、議会に関心を持つきっかけとなればと思います。また、幼稚園児や小学生が社会見学する一施設となればと思います。

今後は、各委員の知恵を出し合って施策を具体化していき、開かれた議会、市民に親しまれ、信頼される議会になればと思います。

中岡